

# ぐるぐる ～螺旋・渦巻・回転～ 展示リスト

..... 展示の本からいくつかをご紹介します .....

## 螺旋

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
右?左?のふしぎ	Henri Brunner/著 柳井浩/訳	丸善出版	2013	101935924	404/フ
カタツムリ、つる植物、サボテン、ブタの尻尾、イッカクの牙、北半球と南半球の台風の渦、風車、螺旋階段、仏像の巻き毛、つむじ…様々な螺旋の右巻き、左巻きを解説しています。					
日本木造遺産	藤森照信、藤塚光政/著	世界文化社	2014	102395360	521.8/フ
福島県会津若松市にある、不思議な二重螺旋建築の「会津さざえ堂」が掲載されています。他にも、全国から選び抜かれた23の日本の木造建築を紹介しており、こんな木の建築が日本にあったのか、という驚きに出会えます。					
世界の美しい階段		エクスナレッジ	2015	102530626	524.8/セ
「名作階段」「絶景階段」など世界の美しい階段がオールカラーで紹介されています。特に、オーストリアのメルク修道院、ロンドンのシティ・ホール（ロンドン市庁舎）、中国の太行山脈にある螺旋階段は一見の価値あり。					
螺旋階段とその他の詩	W. B. イェイツ/著 中林 孝雄/訳	角川学芸出版角川出版 企画センター	2010	100761974	M931/イ
1923年にノーベル文学賞を受賞したアイルランドの詩人W・B・イェイツ（1865-1939）の詩集です。20世紀最高の詩人の一人と言われるイェイツの詩の世界を味わってみてください。					

## 渦巻

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
アンドロメダ銀河のうずまき	谷口義明/著	丸善出版	2019	103726430	443.6/タ
近隣の宇宙にある銀河のうち、約4割が渦巻状になっています。アンドロメダ銀河は渦巻銀河とされていますが、本当に渦巻があるのか、その正体を探りながら銀河の進化の様子を解説しています。					
自然がつくる不思議なパターン	フィリップ・ポール/著 桃井緑美子/訳	日経ナショナルジ オグラフィック社	2016	103031406	463.7/ ホ
巻貝の殻と渦巻銀河の「らせん」、樹木の枝と河川網の「フラクタル」など自然界の不思議なパターンを、どこがどのように似ているのか、サイエンスライターが豊富な写真で解き明かした1冊です。					
枯山水	NHK「美の壺」制作班/編	日本放送出版協会	2008	100173936	629.2/カ
水を使わずに山水を表現する日本庭園では、渦は大宇宙や悟りの世界を表しています。石や砂で描かれた様々な波紋から、ゆったりとした和の空間を味わえます。					
縄文美術館 新版	小川忠博/写真 小野正文、堤隆/監修	平凡社	2018	103362973	702.1/オ
縄文時代の土器には、実用を圧倒する文様で装飾されたものがあり、渦巻文様がびっしり…というものもあります。オールカラーの土器や土偶の写真から、工夫と知恵を駆使した縄文時代の暮らしが見えてきそうです。					

## 回転

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
目の錯覚	木村直之/編	ニュートンプレス	2018	103570199	145.5/メ
静止画が回転したり、動いて見える「錯視図案」が多数紹介されています。どのような特徴から動いて見えるのか、また、動く図を見た時に脳はどう反応しているかについても解説があります。					
ニッポン「もの物語」	夏目幸明/著	講談社	2009	100490915	504/ナ
なぜ回転寿司は右から寿司が回ってくるのでしょうか？ 回す速度、レーンの形など回転寿司の台の工夫を知ることができます。また、渦巻形の蚊取り線香の誕生についても掲載されています。					
ニッポンの観覧車	福井優子/監修・文	イカロス出版	2009	100514614	689.3/フ
イルミネーションに彩られた大型観覧車や、浅草花やしきにあった高さ6メートルのちびっ子観覧車（2019年に残念ながら終了）、またビルの屋上にある観覧車など、ページをめくれば懐かしい気持ちがよくわかります。					
はじめてのレコード	レコードはじめて委員会/著	DU BOOKS	2015	102462060	760.9/ハ
音楽を持ち運んで、いつでもどこでも聴くことができる時代ですが、なんだか暖かい音がするレコードのある暮らしをはじめませんか？					